

陽の里

発行 平成13年10月22日



社会福祉法人 新生会
総合ケアセンター

サンビレッジ

No.76

2001年 **テーマ** 自立支援に向けて



▲デイサービスで生きがいを持ってエプロンたみをしている今井さん

街へ行く作業療法士

松下在宅リハビリ研究所 松下起士

重度の障害者が、在宅で「生き生きと快適」に暮らすことは容易ではありません。家の中でも家の外でも、段差ばかりで思うように身動きができません。生活に便利な福祉機器も体に合ったものが未だ少ないし、なんとなく使う側にも抵抗感があり、あまり普及していません。これでは本当の自立がいつまでたっても望めません。ここで作業療法士が登場します。二つの視点からアプローチします。「生き生きとした生活」への実現に向けての支援です。それには健康でなければなりません。リハビリで規則正しい生活と体力作りを行います。数ヶ月すると体調も良くなり、自信もついてきます。高齢者だから体調を崩したり、時には入院もしますが、回復も早くなります。

次に「生活の快適さ」の追求です。この快適さが、今の高齢社会に欠けているように私には思えます。そのために、段差を無くしたり手摺をつけたりします。これも自立の一助ですが、何よりも在宅生活に必要なものは、「心の張り合い」だと思います。それには気持ち外に向いていなくてはいけません。私はヘルパーさんにお願ひして、外に出る機会を多くしていただいています。私は高齢者の笑顔が本当の豊かさだと思うからです。

言語聴覚士の在宅訪問指導の実際

四天王寺悲田院・療法士室課長補佐・言語聴覚士

藤井 達也

四天王寺悲田院は大阪府羽曳野市にあり、初夏はブドウ、初秋はイチジクが特産品として有名です。また、全国で最大の古墳群やヤマトタケルノミコトが、白鳥となつて最後に降り立った地として「白鳥伝説」が残り、歴史文化資源が豊富な町でもあります。

当院には、理学療法士7名、作業療法士11名、言語聴覚士4名が在籍しています。主に診療所でのリハビリテーション業務や、通所リハ・通所介護・訪問リハサービスを実施しており、医療・福祉サービスを総合的に展開しています。

さて、今回は言語聴覚士が嚥下障害者に行っている在宅訪問活動の実際を紹介いたします。当院では、羽曳野市

の委託を受けて、年間288回の言語聴覚士による訪問指導を行っています。失語症・運動障害性構音障害、今回紹介する嚥下障害が主な対象となっています。

口腔は、(1) 食べる(2) 呼吸する(3) 話すために必要不可欠な器官です。脳梗塞後遺症や外傷により、口腔機能に運動障害が生じ、うまく食物を摂取することができない人たちがいます。例えば、口の中に食物を入れても飲み込めず、口腔の外に流出してしまつたり、「ムセ」る頻度が多いなどの症状が見られます。

実際、訪問した時に観察する点として以下のことに注意します。

(1) 意識状態↓覚醒していることを確認する。食物

が口腔内にあることが確認できる。

(2) 口腔機能↓「口唇が閉じることができるか」「咀嚼ができるか」「舌の動き」などを観察します。

(3) 食物形態↓口腔機能低下に伴い、摂取可能な食物形態が変わります。比較的容易な順にゼラチン食▽流動食▽液体▽固形食。

(4) 食事時の姿勢↓重点的に口の位置を注意してください。口が天井を向いている状態であるとムセを助長する原因となります。この姿勢は、喉頭の動きを阻害してしまうからです。食事の時に、喉頭部が勢い良く挙上するのを確認してください。

(5) 食事時間↓1回の食事時間は、長くても30分ぐらいが適当です。これ以上時間がかかると身体的疲労感を与えてしまい、かえって生活全体に悪影響を与えてしまいます。



ある嚥下障害の方へ訪問してみると、1日の大半を食事に費やしておられました。食事でも、1回の食事時間が長いことは、嚥下障害を伴う人にとっては苦痛でしかありません。また、介護者からは「食事時間の長いこ

とが負担だ」という訴えがありました。そこで1日の食事回数工夫を提案しました。1日5回、負担にならない時間を設定してみても、1日にとる摂取量の確保、食事時間の短縮を目指しています。嚙下障害者の「食べたい」という気持ちを大切に、「食べられない」という生活の質に直結する課題を解決する重要な役割があると確信しています。

しかし、現制度上ではケアマネージャーがケアプランに「言語聴覚士の在宅指導」を導入しようと考えても、残念ながら介護報酬が認められていません。ですから、訪問指導を実施したいと考えている言語聴覚士も実施できないのが現状です。嚙下障害者への援助は在宅生活を保つためにも重要な課題のひとつであり、言語聴覚士の訪問指導をどこに住んでいても利用できるような制度改革が望まれます。

福祉機器の活用

池田町在宅介護支援センター
ケアマネージャー
西脇 麻里子

前回は住宅改修について事例を挙げて紹介しましたが、今回は住宅改修に続いて、介護保険における福祉用具の貸与について紹介します。

誰もが病気になる障害を持つても、最後まで自宅で生活を送りたいと思うものです。

しかし障害により今までの生活が困難になり、歩行ができない・車椅子を使用しなければならない・床からの起き上がりができない等の問題が生じるものです。そしてどうして良いかわからず、寝たきりとなってしまう方が多くあります。そのような方でも自宅で生活ができるようにするため、福祉用具貸与“という在宅サービスがあります。

例えばAさんは、病院から退院したのですが、状態としては立ち上がりはできるが、足の力が弱り歩行がしにくく、

柵などを伝い歩こうとするが、つかまる物が無くなるとそれ以上は歩けず、トイレにも行けず、部屋だけの生活となり、ベッドで寝て過ごすことが多い、生活範囲が限られていました。そこで自宅内を自力で歩けるようにと歩行器の貸与をサービス利用することとなりました。するとふらついていた足の運びが歩行器を使用することで安定し、自宅内での歩行が可能となり、今まで行けなかったトイレへも徐々に自力で行くことができ、また部屋以外も行動できるようになり、自立した生活が送れるようになりました。

またBさんは、歩行がほとんどできなくて、ベッドから食堂への移動など、自宅内においても車椅子を使用した生活を送っています。しかし自宅の玄関には段差があるので、高齢の妻が車椅子を抱えて降ろすことはできず、外へ出ることができません。また、無理に降りようとすることで互

いに怪我のもととなります。そこで福祉用具貸与のサービスでスロープを借りることにしました。スロープを付けることで簡単に玄関を降りられるようになり、危険も回避することができました。

事例に挙げた福祉用具以外にも、ベッド・車椅子・褥瘡予防マット（エアーマット）等の、自宅で生活を送るために必要な福祉用具として介護保険の在宅サービスがあり、この福祉用具貸与サービスは、利用者の1割負担で利用することができ、福祉用具の貸与や介護保険については、いつでも在宅介護支援センターにご相談してください。



▲部屋から土間・玄関前に向けてのスロープ

エアーマットの利用と

チームケアで褥瘡の改善

新生メディカル大垣営業所 渡部 信子

「何とか褥瘡の改善がでないか」91歳のNさんの在宅生活は、家族・主治医・ヘルパー・ケアマネージャーそれぞれが同じ思いを持ち、在宅スタート地点に立った。そこでまず、電動ベッドを勧めると同時に、褥瘡悪化を防ぐためのマットに空気を入れ、圧迫分散を図るエアーマットを紹介した。「そんな物があるの?」と半信半疑の家族であったが、主治医より「エアーマットはいいねえ」と力強い助言を得、また福祉機器担当者より丁寧な使用方法や留意点を聞き、導入が決定した。

エアーマット使用から一ヶ月、Nさんの褥瘡状態はさほど改善されず、カンファレンスを行ったところ、栄養状態の悪化が浮かび上がった。介護者のSさん自

身も介護度1の認定を受けながら、家業と義父の介護を担っておられ、更にNさんの粥食等の準備にと負担増加が予想された。そこでヘルパーによる食事作り、食事介助を提案したところ、承諾を得ることができた。当初は白粥のみであったが、介護者が南瓜・さつまいも等を準備してくださり、芋粥となったり、家族の副食を取り分けてくださったりと、食事内容も徐々に豊かになってきた。それに伴い、Nさんに活発な動き・自力での食事摂取・褥瘡においては皮膚乾燥状態と改善がみられるようになった。

体調不良の介護者に代わり、食事準備等をしているヘルパー・家族へ根気強い励ましをしてくださる主治医・入浴拒否のNさんに、

安心して入浴して頂けるような言葉掛けをし、「気持ち良かった」の一言を口にさせてくれた訪問入浴のスタッフ…。

褥瘡改善には基本的に体位変換が必要であるが、「圧迫の分散・栄養確保・清潔保持」どれ一つ欠かすことなく、福祉機器用具導入とチームの思いが両輪となつてこそ、Nさんが満足し、心休まる在宅生活が継続できるのではないのでしょうか。



▲仙骨部(お尻の上)にできた褥瘡(床ずれ)

2002年カレンダー
予約受付中

毎年恒例となつているカレンダー作りも、今回で5回目を迎えました。今回は「わが町・池田」というテーマで、池田町の名所・名物を中心に制作しました。お年寄りの手のぬくもりがたくさん詰まったカレンダーです。あなたのお部屋にも1冊いかがですか?

レクリエーション担当
柴田千桃生

●販売価格

一部 1,500円

●お問い合わせ・予約受付先
サンビレッジ新生苑

●TEL

0585・45・5545

●FAX

0585・45・7131

